

# 第6次直方市総合計画、スタート

## 都市将来像「未来へつなぐ〜ひと・まち・自然〜」

直方市は、昭和6（1931）年1月1日の市制施行から、本年度90年を迎えます。

市制施行以前から、本市は長い歴史を重ねてきました。古くは天神橋貝塚の縄文時代から、直方藩が置かれた江戸時代を経て、石炭産業により日本の近代化を支えた明治・大正・昭和の時代へと発展してきました。これらの歴史を経て、本市の主要産業である製造業の高度な技術や技能の集積、歴史と伝統に支えられた文化、交通の要衝としての機能や豊かな自然など、誇るべき素晴らしい資産が今日まで受け継がれてきました。私たちは、これらの資産を有効活用して次代に向けて誇れるまちづくりをしていかなければなりません。

地球温暖化に起因する災害の激甚化など、著しく環境が変化しています。特に、昨年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、人々の生活様式を一変させ、社会や経済に大きな打撃を与えました。

このような時こそ、市民の皆様と行政が協働し、創意と工夫を施しながら、将来にわたり持続可能なまちづくりを行う必要があります。第6次直方市総合計画では、平成27（2015）年国連で採択され、持続可能な社会の実現を目指すための目標として、行政だけでなく企業や個人などの枠組みを越えて様々な主体が取り組んでいる「SDGs（持続可能な開発目標）」<sup>エスディージーズ</sup>の概念を取り入れました。また、地域の豊かさを測る指標であり、SDGsの評価指標としても注目されている「新国富指標」の概念もあわせて取り入れ、まちづくりの達成度合いを測りながら、将来に向けたまちづくりに取り組むこ

とにしました。

今回の総合計画策定に際しては、次の世代の意見の反映を目指し、本市の将来を担うであろう小中学生や高校生を対象とするアンケートを実施するなど、若い世代の皆様の意見をいただきました。

10年後の令和13（2031）年は、市制100周年を迎えます。今日私たちが受け継いできた豊かさを次の世代により豊かにしてつなぐため、この総合計画に基づいて様々な施策を市民の皆様とともに力を合わせて取り組んでまいります。

市民の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



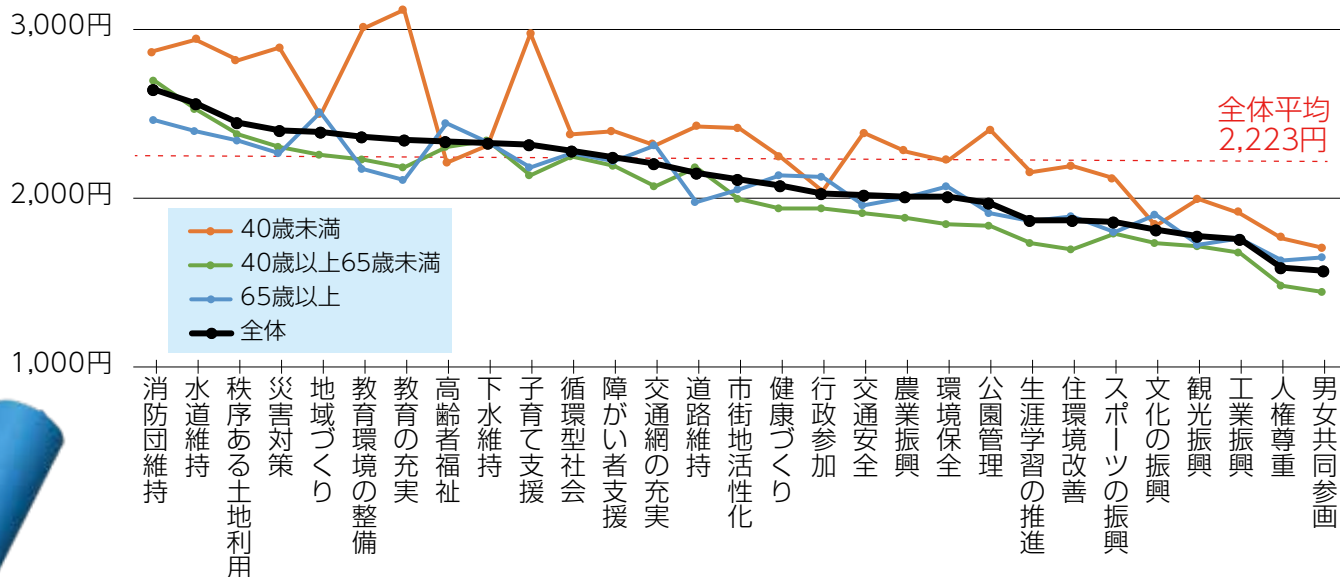
直方市長  
大塚進弘

第6次直方市総合計画が完成し、新しい10年間のまちづくりが4月からスタートします。今回の総合計画では、デジタル化、連携、環境対策など、時代の流れに対応し、持続可能なまちづくりを行うため、様々なデータや市民の皆様・関係各位からのご意見を参考に策定作業を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染症による困難な状況にもかかわらず、総合計画審議会委員の皆様をはじめ、アンケートへの回答など、策定にご協力いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

## 新国富指標市民アンケート結果 (令和2年5月実施)

様々な行政サービスのニーズについて把握するため「ある行政サービスがなくなるとしたら」と仮定し、「その行政サービスがなくならないために世帯収入の中から支払ってもよい額」について尋ねました。

### ● 1人あたり支払意思額 (全体の支払意思額が高い順)

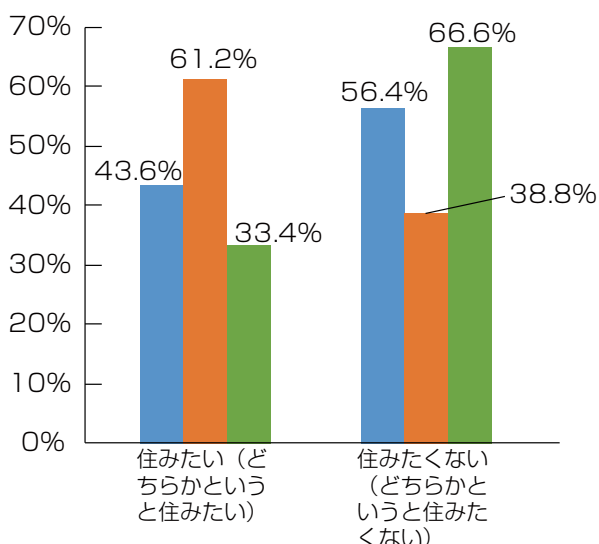


災害関連（消防団維持、災害対策）は、すべての年代で支払意思額が高くなっています。また、40歳未満は、子ども関連（「教育環境の整備」「教育の充実」「子育て支援」）の支払意思額が高く、65歳以上は、「地域づくり」の支払い意思額が高くなっています。これらの意見を踏まえて、第6次直方市総合計画では、自主防災組織の支援（災害関連）、未来型授業の推進（子ども関連）、地域運営協議会の設立（地域づくり）などに取り組みます。

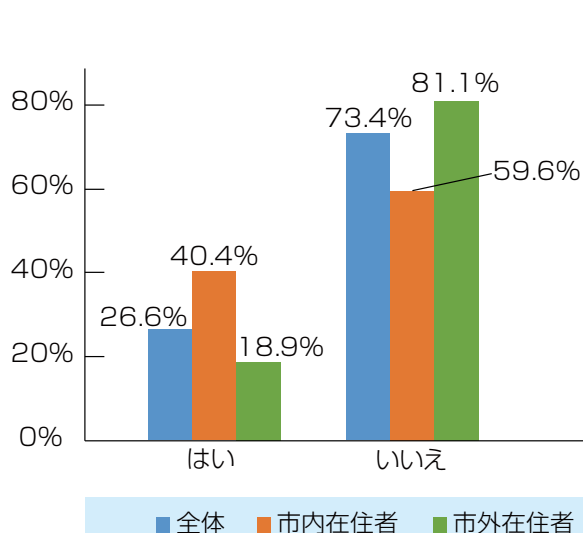
## 高校生アンケートについて (令和2年6月実施)

直鞍地区の高校生を対象に、本市に対するイメージ、定住意向や就職に関する意識を尋ねました。

### ● 就職後、直方市に住みたいと思うか



### ● 働きたい場所の候補に直方市が含まれているか



市内在住者では全体の60%以上の高校生が就職後も直方市に住みたい（どちらかというに住みたい）と答えているものの、働きたい場所の候補に直方市が含まれている高校生は全体では30%未満（市内在住でも40%）にとどまっています。この結果を踏まえて第6次直方市総合計画では若者に対する市内事業者の認知度向上や若者が希望する就業分野の企業誘致等により、多くの若者が市内で暮らし、働きたくなるまちの実現に取り組みます。

同封の「第6次直方市総合計画（概要版）」をご覧ください。また、詳しい内容は、市ホームページ（「第6次直方市総合計画」で検索）に掲載しています。

<問い合わせ> 企画経営課 企画経営係 (TEL 25-2230)

